

# 川尻界限

## 今村邸

(平成7年9月指定)



### 景観形成建造物

所在地 川尻4丁目9-21  
建築年代 江戸末期  
構造 木造2階建て  
用途 町屋(住宅)

西南戦争の際、薩軍は熊本鎮台攻撃の拠点として川尻に薩軍本営を構えました。この建物は、薩摩軍の本陣となったと伝えられており、「南州翁本営跡」の石碑が建てられています。外観はで出格子が付けられ、本営として使用されていた当時の姿を今もとどめています。

## 瑞鷹株式会社（事務所、倉庫）

(平成7年9月景観形成建造物指定)

(平成24年11月景観重要建造物へ移行)



### 景観重要建造物

所在地 川尻4丁目6-67  
建築年代 明治末期  
構造 木造2階建て  
用途 酒醸造所

慶応3年(1867年)熊本にはまだ赤酒しかなかった頃、瑞鷹の初代吉村太八はいち早く清酒の醸造に取り組みました。明治22年(1889年)元旦に、酒蔵に鷹が舞い込み、これを機縁に「瑞鷹」の酒銘が始まりました。

瑞鷹、吉村邸、旧大嶋屋と今村邸、瑞鷹酒蔵資料館が建ち並び川の船着場、細川藩のお蔵と続く通称瑞鷹通りは、川尻の黒と白のまちなみを代表する通りです。

## 吉村邸

(平成7年9月景観形成建造物指定)  
(平成24年11月景観重要建造物へ移行)



景観重要建造物

所在地 川尻4丁目6-65  
建築年代 明治末期  
構造 木造2階建て  
用途 町屋(住宅)

## 瑞鷹株式会社(倉庫)

(平成7年9月景観形成建造物指定)  
(平成24年11月景観重要建造物へ移行)



景観重要建造物

所在地 川尻4丁目6-64  
建築年代 明治末期  
構造 木造2階建て  
用途 土蔵(倉庫)

# 瑞鷹酒蔵資料館

(平成 24 年 11 月指定)

## 景観形成建造物



所在地 川尻 4 丁目 10-3  
建築年代 明治末期  
構造 木造 2 階建て  
用途 資料館



# 瑞鷹株式会社（倉庫）

(平成 24 年 11 月景指定)

## 景観形成建造物



所在地 川尻 4 丁目 10-5  
建築年代 明治末期  
構造 木造 2 階建て  
用途 倉庫

